

医療法人社団玄同会小島病院における 勤務医の負担軽減および処遇の改善

当院では医師の負担軽減及び処遇改善のため、下記の項目について取り組みを行っております。

1. 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

- ・ 栄養サポート、緩和ケア、認知症ケアなどのチーム医療を推進しています。
- ・ 看護師が静脈注射、点滴ライン確保を実施しています。
- ・ 薬剤師が薬剤投与の設計支援、抗がん剤の調整混合、病棟薬剤業務を行っています。
- ・ 検査技師が頸動脈エコー、心エコー検査を行っています。
- ・ クリニカルパスを推進しています。
- ・ 各診療科、検査科、放射線科、薬剤科に専属の助手を配置しています。
- ・ 看護補助者、病棟クラーク、外来クラークを配置しています。

2. 医師事務作業補助者の活用

- ・ 医師事務作業補助者を配置し、代行入力の仕事を整えています。
- ・ 診断書(主治医意見書等)、サマリー(退院時要約)の代行入力を行っています。
- ・ 回診に同行し、代行入力を行っています。

3. 地域の医療機関との連携

- ・ 在宅療養支援病院として、地域医療機関との連携強化により機能分担を図っています。
- ・ 入退院に係わる院内外の調整を行っています。

4. 医師の勤務体制等に係る取り組み

- ・ 医師の増員を計画しています。
- ・ 各大学医局へ医師の派遣依頼を行っています。
- ・ 常勤医の当直回数削減に取り組んでいます。
- ・ 院内託児所を完備し、女性医師の勤務環境整備に努めています。

平成 30 年 4 月
病院長